

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

南信州快適住宅

グループの名称

南信州快適住まい協議会

直近採択グループ番号

06-0407-0376

(グループ代表者)

代表者名

鈴木 政好

代表者印

代表者所属先

有限会社鈴木工務店

代表者所在地

長野県飯田市松尾上溝2957

代表者電話番号

0265-22-3788

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社HIKARI

事務局担当者名

岡田 英樹

印

事務局郵便番号

399-3202

事務局所在地

長野県下伊那郡豊丘村神稲9289-1

事務局電話番号

0265-35-8661

事務局FAX

0265-35-8667

事務局担当者E-mail

okada@hikarimokuzai.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	南信州快適住宅
2. グループの名称(必須)	南信州快適住まい協議会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0407-0376
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	長野県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	鈴木 政好
7. グループ代表者の所属先(必須)	有限会社鈴木工務店
8. グループ代表者所在地(必須)	長野県飯田市松尾上溝2957
9. グループ代表者電話番号(必須)	0265-22-3788
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社HIKARI
11. グループ事務局担当者名(必須)	岡田 英樹
12. グループ事務局郵便番号(必須)	399-3202
13. グループ事務局所在地(必須)	長野県下伊那郡豊丘村神福9289-1
14. グループ事務局電話番号(必須)	0265-35-8661
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0265-35-8667
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	okada@hikarimokuzai.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	14	原木供給事業者が海外事業者であるため
II. 製材・集成材製造・合板製造	19	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	3	
V. 設計	14	
VI. 施工	20	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木製品」の合法性・持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材		3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
	外材		4	国外		
	長野県産材 桧・杉・唐松	長野県	信州木材認証制度	1	国内	
	岐阜証明材 桧・杉	岐阜県	岐阜証明材推進制度	1	国内	
	ぎふ性能表示材 桧・杉	岐阜県	ぎふ性能表示材推進制度	1	国内	
	愛知県産材 桧	愛知県	愛知県産材認証機構認証制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		8	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		6	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	速やかな申請を行うために、グループ配分が決定した時点で確実に申請できる対象住宅を優先する。希望者多数の場合は、着工時期等を考慮の上、公平な配分を行う。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	5	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 南信州快適住宅	（地域型住宅供給対象地域） 長野県
2. グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称） 南信州快適住まい協議会	（結成年） 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0407-0376	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・地理的要因により寒暖の差が激しい地域であることから、断熱性能を重視し、省エネルギー基準（平成28年基準）の断熱等性能等級4とする。 震の想定被災エリアであることから耐震等級を重視し、耐震等級2以上程度とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・日射対策として、方位による窓ガラス種類の選択を行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・梁または桁または柱は、住まい手に地域材（国産材）の使用を直接目にするのでできる部分を設けるものとする。・日当たりのよい南側の庇・軒を延ばし、下記の温度上昇に対する配慮を行うものとする。・庭などがある場合は、植栽等を行うことで日陰の効果や、葉の蒸散作用による温度低下により、夏の暑さ対策をする。	◎
④①～③の背景	・当地区は長野県南部（南信州）に位置し、中央アルプス南アルプスに挟まれた伊那谷にある。冬は寒冷、夏は内陸性気候のため日較差が大きい。また、東海地震防災対策強化地域内にあり、東海地震が発生した場合には強い揺れが発生する可能性が高い。・当地区が位置する伊那谷はフェーン現象が発生することが多く、最高気温が高い。また、晴天が多く日照時間も長い。・当地区は中央アルプス・南アルプスなど豊かな森林資源の産地である。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	1. 施工技術や低炭素社会に向けた住まいの知識向上のために、研修会の実施や優れた技術を持つ構成員による講習会を行う。2. 施工構成員全員の技術・知識のレベルアップのために構成員相互が情報提供・共有が出来る組織づくりを行うこととする。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・土台、柱、梁桁は105mm角以上を使用する。また、標準仕様書設定し、製材、流通、プレカット工場は、標準仕様の用材が迅速に用意できる体制を築く。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・使用メーカーの統一や共同仕入れ、一括購入などを検討し購入コストの低減をはかる。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・土台、柱、梁桁、断熱材等に標準仕様を設け、迅速な供給と選択ができるようにする。	○
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・仕様の統一や共同仕入れ、一括購入などを検討し、購入コストの低減をはかる。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・事務局は申請に必要な省エネデータ資料の作成や、施工者への説明ができる各種パンフレット作成を行い、構成員の負担軽減をはかる。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・構成員以外の業者に対し、本事業の趣旨、当グループの役割、統一規格によるコスト削減策等を周知させるための委員会を設置する。・生産効率の向上や、合理化が図れる工法、資材等の情報収集と普及を目的とした委員会を設置する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅にまつわる施策や、生産効率の向上、合理化が図れる工法、資材等の情報を収集し会報などによって構成員に提供する。・申請手続き事務のアドバイスやシステムの情報提供を行う。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅性能表示制度の導入を検討する。	
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ内に設けた検査委員会が策定した検査ルールに基づき検査を実施する。・検査報告書をグループ内で開示し、情報共有をはかる。	
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・見積書は出来得る限り製品名や規格寸法等を表示する。また、一式提示など内容のわかりにくい表現を極力排するようにする。	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・本事業の趣旨や当グループの活動を紹介するパンフレットの配布を通じて、取り組みを周知させる。	
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・技能に対する表彰や永年勤続者に対する表彰などをグループ内で検討する。	○
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ内の安全や健康に対する意識や研修等を開催を検討する。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特になし。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南信州快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 長野県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 南信州快適住まい協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0407-0376	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅履歴情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴情報機関の基準に基づいて、新築時の設計図書や維持管理情報等を一括管理でき	◎	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴情報機関(いえかるて)を利用する。	○	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴情報機関への申し込みを事務局が確認する。	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・利用する住宅履歴情報機関のアラーム機能を利用して、施主への維持管理に関する情報提供を定期的実施する。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・点検の終了後に点検実施と補修状況を事務局に報告する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が施工業者から提出された点検予定に基づき点検補修の実施状況を確認する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施主が自ら行うことができる範囲のメンテナンス講習を引き渡し後実施できるようにする。 ・住まいの災害時の緊急対策等についてもマニュアルを作成し配布する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局と施工業者、建材流通をメンバーとして、維持管理委員会を設置し、共通の維持管理方法や維持管理計画を策定する。また、構成員に維持管理に関する講習会を企画し周知する。	○		
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局は維持管理を代行できる構成員を当グループ内にて選定する。選定された構成員は継続的な維持管理を行う。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・地域の住宅維持管理が継続的にできる組織としての体制づくりを目標とする。	○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ内の経験の浅い施工業者への講習会を実施する。また幅広い技術習得が出来る。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネルギー技術講習の受講を徹底する。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 経験事業者による現場での確認を行う。	○
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工技術等の習得によって、2020年までに全ての施工業者が高度省エネ型住宅の経験事業者になることを目指す。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 5	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局は講習会の実施日時や場所の把握を行い、受講対象構成員への連絡と参加を促す。	○
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・省エネルギー基準適合義務化に向け、技術力や知識を施工業者が得られるように技術研修会を行う。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南信州快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 長野県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南信州快適住まい協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0407-0376	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	地域材利用に関する共通ルール(必須) ・土台＝桧(信州木材認証制度、岐阜証明材推進制度、ぎふ性能表示材推進制度、愛知県産材認証機構認証制度)、または合法木材認証制度による桧、米ヒバ・米桐・米松を使用する。 ・柱＝桧・唐松・杉(信州木材認証制度、岐阜証明材推進制度、ぎふ性能表示材推進制度、愛知県産材認証機構認証制度)、または合法木材認証制度による桧・杉・唐松・赤松を使用する。 ・梁・桁＝桧・杉・唐松(信州木材認証制度、岐阜証明材推進制度、ぎふ性能表示材推進制度、愛知県産材認証機構認証制度)、または合法木材認証制度による米松・桧・杉・唐松・赤松を使用する。	◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
③	標準的な地域材の使用部位(必須) 主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	○
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 原木→製材→市場・問屋→流通→プレカット→施工業者 施工構成員及び事務局は、地域型住宅を申請する場合は、地域材使用の旨を各所に連絡し、使用材の間違い等を防ぐこととする。 グループのイベント時には、被災地域の物産等を景品や粗品に利用するようにする。 ※別紙フロー図を参照ください。	
b		
①-1	地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工構成員提出の年間予定棟数に基づいた必要材積情報を製材、流通が把握し、迅速な納入体制の確保や価格の安定に努める。	○
①-2	地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工構成員は定期的に受注状況報告を事務局に行い、安定供給のための情報提供を行う。事務局は受注情報に基づいて主な使用材の在庫状況や価格情報の提供を行う。	○
②	グループ全体における地域材の需給予測 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
c		
①-1	畳の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-2	和瓦の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3	襖の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-4	障子の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1	その他地域の伝統的な素材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2	その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
d		
①	地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②	地域の住まい方の継承につながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③	地域の街並み形成へ寄与する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④	和の住まいの要素を取入れた取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 特になし。	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	グループのイベント時には、被災地域の物産等を景品や粗品に利用するようにする。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	グループのイベント時には、被災地域の物産等を景品や粗品に利用するようにする。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 南信州快適住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 長野県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 南信州快適住まい協議会	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0407-0376	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>・認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅について 省エネルギー基準(平成28年基準)を満たすとともに、一次消費エネルギー消費量等級5となるよう、</p> <p>①通風性を考慮し自然風を生かした窓配置等の検討 ②高効率設備機器の使用 ③高断熱浴槽の採用 ④方位による窓ガラス種類の選択などを行う。 併せて設置する便器の半数以上を節水型にすること。また設置する水栓の半数以上を節水型とすることとする。</p> <p>・ゼロエネルギー住宅について ①季節ごとの太陽高度に対応した庇や窓ガラスの選択 ②通風性を考慮し自然風を生かした窓配置等を検討 ③高効率設備機器の使用や ④方位による窓ガラス種類の選択を行い、一次消費エネルギー量を低減できるようにする。また設置する便器の半数以上を節水型にする。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。